

石狩市厚田区及び当別町に計画されている大規模風力発電事業の中止を求める署名

経済産業大臣 齊藤 健 様、環境大臣 伊藤 信太郎 様、国土交通大臣 齊藤 鉄夫 様、
北海道知事 鈴木 直道 様、石狩市長 加藤 龍幸 様、当別町長 後藤 正洋 様

現在石狩市厚田区と当別町西当別には以下の4事業最大57基の風力発電計画があります。

- (仮称)北海道厚田風力発電事業（東急不動産株式会社）単機出力4,300～6,100kW、最大15基、
最大総出力91,500kW、全高最大194m、ローター直径最大158m、
- (仮称)石狩市厚田区聚富望来風力発電事業（一般社団法人開発44号）単機出力4,200kW 最大8基
- (仮称)石狩郡当別町西当別風力発電事業（一般社団法人開発44号）単機出力4,200kW 最大12基
- (仮称)石狩聚富風力発電事業（株式会社市民風力発電関連会社）、単機出力3,000～6,000kW、
最大22基、全高最大約200m、ローター直径最大約160m、

私たちは以下の理由からこれらの事業中止を求めます。

(1) 周辺住民への健康影響が大きく懸念される

厚田区聚富望来風力発電から最寄り住宅まで700m、石狩聚富風力発電から医療関係施設まで約1kmなどと離隔距離が短く、計画されているすべての発電事業が稼働した場合、すでに稼働している石狩八の沢風力発電（5基）も加え、低周波音・超低周波音を含む風車騒音の累積的影響が大いに懸念される。

(2) 自然環境〔希少猛禽類を含む野鳥やコウモリ類〕への影響が強く懸念される

計画地一帯はほとんどが「石狩市風力発電ゾーニング計画」（2019年）で「環境保全エリア」に指定されている。事業地およびその周辺では、ハチクマ・チュウヒの営巣木がアセス調査で確認されており、周辺住民はクマガラ・オオジシギの営巣を確認している。また、毎年春先は、渡り途中のコハクチョウの大群が近隣の水田に数週間滞在する。コウモリ類（哺乳類）はブレード回転時の急激な気圧変化に伴う内臓損傷による死亡が報告されている。自然・生態系への影響が強く懸念される。

(3) 巨大風車建設や建設道路拡張にともなう大量の樹木の伐採と地形の改変による土砂災害の危険性

対象事業実施区域には「崩壊土砂流出危険地区」や「土石流危険渓流」などの危険箇所がある。谷沿いの不安定な地区で土地の改変を行うことで、大雨・融雪などの影響により雨水と土砂が一気に流れ出し、下流域の民家や石狩の基幹産業である漁場が「土石流」により被害を受ける恐れがある。

(4) 景観破壊

厚田区は海岸段丘が発達しており、丘の街として、海と山、そして丘の上に広がる田園風景が多くの人の心をとらえている。さらに美しい日の出、日の入り、月の出、星・夜空の景観は市民共有の財産である。幾重にも重なる巨大な風車で、これらの景観を壊してはならない。

氏名	住所

ボールペンか万年筆にて記入し、「ㇿ」は使わないで下さい。ご署名いただいた個人情報は本署名以外には使用しません。

署名団体：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 共同代表 柿崎敦子、糟谷奈保子

風力発電を考える当別町民の会 代表 手代木隆二

署名集約：2024年11月30日 署名送付先 〒061-3214 北海道石狩市花川北4-4-47 糟谷奈保子